

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス神埼教室				公表日	令和7年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動しやすいように道具の配置を工夫しており、運動スペース、学習スペース等の活動内容によって環境設定をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	既定人員の配置はしているが利用人数に応じて人員を調整している。	イベントや利用人数が多い時などは人員を確認する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	静かに過ごすスペースと運動スペースをマットで色分けをしている。安全性を考え厚みのあるマットを敷いて事故、けが防止に努めている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	児童が帰所後は毎日清掃、消毒を行っている。運動スペース、学習スペース等それぞれの環境に合わせた設定をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別対応が必要になった時は静かな部屋を活用している。扉を閉められてクールダウンの場所等に使えるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日、職場全体でのミーティングを行い情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年、保護者向けアンケート調査を実施し、意見・意向を参考にスタッフで話し合い業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎日のミーティング時スタッフ同士で意見情報の共有を行い、改善を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		現在は行っていないので、今後に向けて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	運動や虐待防止、義務化になった感染症予防の研修研修を定期的実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ホームページにて公表している。日々の取り組みについてはお知らせや連絡帳等でお伝えしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	契約時と毎年保護者にアセスメントを記入してもらっている。それをもとにスタッフ間でも話し合意を行い課題やニーズに合わせた計画を立てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	作成時に担当者会議を実施し、情報共有や個々の児童に合った支援計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	それぞれの児童に沿った支援ができるよう支援計画の確認や情報共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントを活用・確認し、それぞれの児童に合う活動支援や指導を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	子どもの支援に必要な項目を設定し具体的な支援内容を立て、設定した支援を元に指導を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	ミーティングを行い活動プログラムやイベント、行事等スタッフで意見を出し合って立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月運動の目標を決め、毎日違う活動を行っている。長期休暇や土曜日には外出イベントを企画している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動、集団活動組み合わせ状況に合わせて活動提供している。グループ遊びなどはスタッフが入り、活動に参加出来るようにしている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日ミーティングにて支援内容や役割など確認し、チーム連携に取り組んでいる。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	送迎後には情報共有を行い、いつもと変わった事、送迎時保護者との話の中で気付いたことは報告している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日利用児童への支援内容を記録し情報共有している。気づいたところ報告し改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリング、支援会議をおこない計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	4つの基本活動に沿って組み合わせ活動提供を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動に関しては選択肢を設けたり、それぞれ活動が出来るように玩具、鉛筆等取りやすい場所においており、スタッフを介さなくても自由に選択できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	管理者・児童発達管理責任者が参加し、職員に情報共有をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校や協力医療機関との連携や保護者を通してかかりつけ医の指示等を確認している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校や自宅への送迎時にその日の様子や行動等を確認。情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	利用開始に向けて就学前の情報を保護者や相談支援員から共有してもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	相談員を通して伝えたり、直接事業所からの連絡をもらい共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	連携を図り助言をもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	色々なイベントに参加したり他教室との交流を図っている。今後も機会があれば参加したい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	参加できていないが、機会があれば参加したい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	その日の様子や学校からの伝達等は個別の連絡帳や送迎時に直接伝え、情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	研修等は行っていないが、情報提供等は行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学の際や、契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援計画を立てる際に保護者や児童の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	確認してもらい同意のサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者からの悩み相談があった時は面談や電話で話をする時間を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	要望に応じて対応していきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	対応の体制を整えており迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月のイベント等はお便りを作成し配布している。当日の活動内容等は連絡帳にて行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きの書庫に資料等を保管し適切に管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子供一人一人の特性に合わせて声掛けをし、送迎時に保護者に伝えている。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	現在は行っていないが、今後は取り入れていきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを作成し周知している。年に数回、発生時にを想定した訓練や感染症予防等を行う事ができている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画の策定を行い、定期的に避難訓練、災害訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者と情報共有を行い、スタッフにも周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	現在対象児童はいないが保護者と情報共有を行いその都度対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	担当職員が安全計画に基づき、定期的に研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	教室での取り組みや実施したことを保護者へ報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎日のミーティングの中で情報共有しヒヤリハットがあれば話し合い再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止研修を定期的実施しており、研修内容をまとめ報告書を作成している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	現在対象となる児童はいないが、他害がある児童の場合は計画書を作成し、保護者への説明を十分に行い同意を得てから対応する。	